

# グローワイヤー試験概要

- ・燃焼性試験 (GWFI) ・着火性試験 (GWIT)
- ・製品燃焼性指数 (GWEPT) ・ニードルフレーム試験

## 試験規格

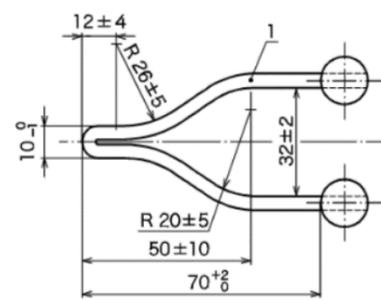
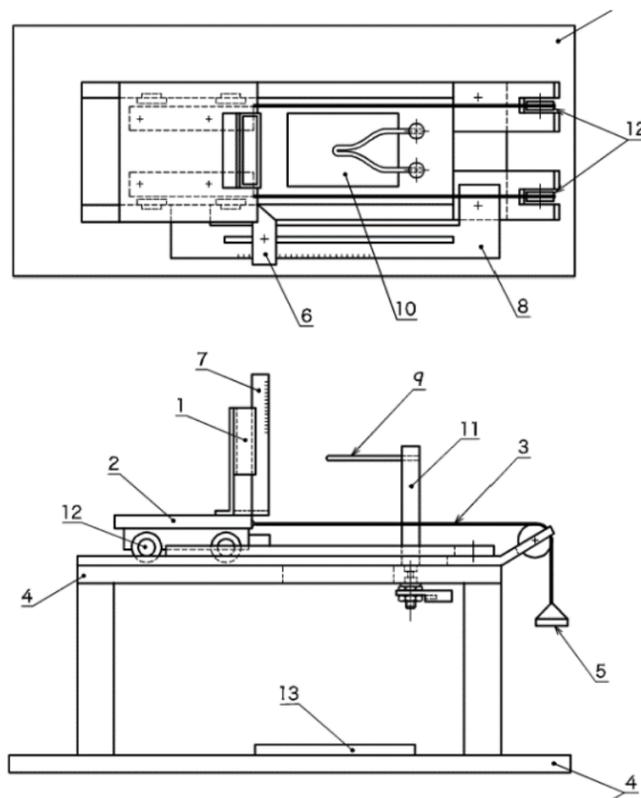
- ・IEC 60695-2-10(JIS C60695-2-10) 試験方法-通則
- ・IEC 60695-2-11(JIS C60695-2-11) 最終製品に対する燃焼性試験方法(GWEPT)
- ・IEC 60695-2-12(JIS C60695-2-12) 材料に対する燃焼試験方法(GWFI)
- ・IEC 60695-2-13(JIS C60695-2-13) 材料に対する着火性試験方法(GWIT)
- ・IEC 60695-11-5(JIS C60695-11-5) ニードルフレーム試験方法

CWB では 材料試験であるGWFI/GWIT および製品試験である GWEPTまたは、ニードルフレーム試験で 750℃以上の製品を GWT750℃ (GW対応) としています。

## 材料試験方法例 (GWFI GWIT) 詳細は該当規格をご参照ください。

図に示す、ループ状に曲げた直径 4 mmのニクロム線を、所定温度に加熱し、試験片に30秒間、押しつけ燃焼時間等の観察を行います。

### 試験装置 (例)



グローワイヤ (ニクロム線) 部詳細

#### 主要箇所

- |   |               |    |                   |
|---|---------------|----|-------------------|
| 1 | 試験片保持具 (図4参照) | 8  | 侵入深さ調節用目盛板        |
| 2 | 運台            | 9  | グローワイヤ            |
| 3 | 引きひも          | 10 | 試験片から落下する小片用基台開口部 |
| 4 | 基台            | 11 | グローワイヤ取付け支柱       |
| 5 | おもり           | 12 | 低摩擦ローラ            |
| 6 | ストップ          | 13 | 規定の敷物             |
| 7 | 火炎高さ測定用目盛板    |    |                   |

## 試験の評価

### 【グローワイヤ燃焼性指数(GWFI)の評価】

試験温度のグローワイヤを試験片に30±1秒間押し付けた後、下記の1と2の両項目を満足したとき、その試験温度をクリアーしたものとします。3回連続した試験を行い、最高温度を求めます。(詳細条件については試験規格を参照してください。)

- 1.グローワイヤを引き離れた後、有炎燃焼または赤熱(グローイング)が30秒以内に消えるとき。
- 2.試験片の200mm下に置いた薄葉紙が着火しないとき。

※表記方法：試験で求めた最高温度をGWFIとする。

### 【グローワイヤ着火温度(GWIT)の評価】

試験温度のグローワイヤを試験片に30±1秒間押し付けている間、および、その後の30秒間で、着火を起こさない最高温度(試験温度間隔を25℃とし、3回連続した同じ温度で試験する)。

着火 - 炎を5秒以上確認できること等、着火の定義詳細については試験規格を参照してください。

※表記方法：試験で求めた最高温度より25℃高い温度をGWITとする。